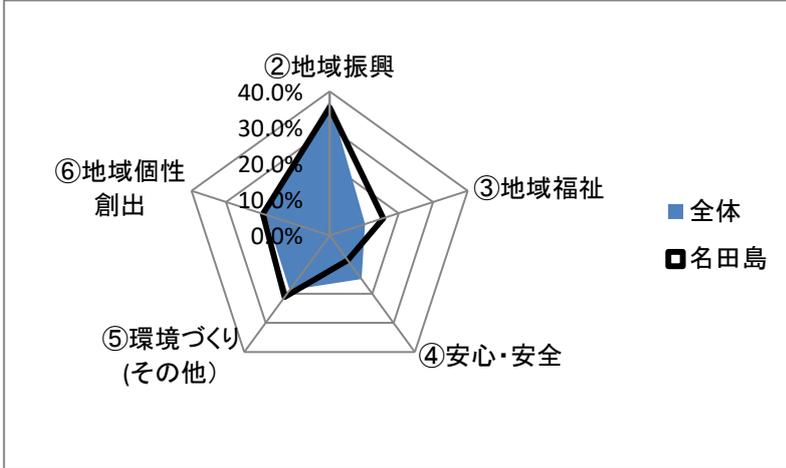


名田島自治会連合会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

■地域の情報

地域人口	1,145人	自治会数	13
世帯数	469世帯	自治会加入率	91.7%

※数値は、令和3年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	7,992,000 円
交付金決算額	6,983,560 円
その他収入	0 円
交付金決算額/配分額	87.4%

各分野の決算

①協議会運営	3,904,586 円
②地域振興	611,524 円
③地域福祉	267,335 円
④安心・安全	145,618 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,358,000 円
⑤環境づくり(その他)	363,698 円
⑥地域個性創出	332,799 円
決算総額	6,983,560 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

会員や委員からの意見や提案を取り入れ、平成30年度に作成した第3次名田島地区協働のまちづくり計画を推進する。

■総括

平成30年度に作成した第3次名田島地区協働のまちづくり計画を円滑に進めるため、「伝えよう次世代へより良い名田島を」基本理念としながら、活動しやすいように5本の活動の柱と20の活動目標を設定し、部会活動を中心に推進した。またホームページの拡充やフェイスブックの定期的な更新など情報発信にも努めた。車座トークについては、5項目の地域課題について地域住民で考え意見交換も行った。名田島小学校のグラウンド芝生化も6年目に入り適正な管理を行いながら、良好な芝生を提供し利活用を図った。コロナ禍で間接的に影響を受けた事業として①一集落一事業②健康増進活動③地域防災活動の推進等であるが、こども健全育成事業や地域環境美化事業など多岐にわたる幅広い活動を展開することが出来た。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集客を伴う事業として①イベント補助②世代間交流事業③ふるさと大学の開講が実施出来なかった。しかし、名田島地区のまちづくり事業として「フットパス」の基盤整備(パンフレット作成、幟旗・手旗作成)の充実を図った。今後とも、地域課題の解決に向けて新たな企画や継続した取り組みに努めたい。

① 協議会運営	事務局人件費(事務局長:1名 事務員:2名)、事務費
② 地域振興	一集落一事業、広報活動、第3次計画の推進
③ 地域福祉	健康増進活動補助、こども健全育成事業補助
④ 安心・安全	防災訓練(情報伝達訓練)の実施、防災関係者研修会の実施
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、地域環境づくり、地域環境美化
⑥ 地域個性創出	小学校芝生化グラウンドの管理・利用推進事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	名田島のPR事業	決算額	392,428円
	目的	名田島の情報を共有し、地区内外への情報発信を推進します。		
	実施内容	広報誌の「田園」や「自治会連合会だより」を定期的に発行し、自治会活動等を地区内外に発信しました。また、ホームページやフェイスブックを通じて、名田島の行事や原風景をリアルタイムに発信し、ipadの利活用により情報収集に努め、利用者の拡大に努めました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	地区内外多数		
	成果	「田園」や自治会ホームページを画像中心に見やすい内容とし、ホームページの閲覧件数も増加しました。また、フェイスブックも更新し若者を中心とした世代にも名田島の良さ、行事や情報を発信することができ、フェイスブックの友達も増加しました。		
	評価	名田島の行事や地域資源、自然の豊かさなど情報発信することにより、地区内外の若者にも知ってもらい、行事への参加者の増加及び郷土愛の醸成、定住促進のきっかけづくりにもなっています。		
今後に向けて	更なる内容の充実に努めていきます。			
②	事業名	一集落一事業	決算額	109,516円
	目的	自治会活動の活発化を推進します。		
	実施内容	単位自治会が新たに行う自主的な活動に対して、その経費の一部を助成しました。		
	実施時期	9～12月		
	参加人数	6自治会		
	成果	伝統行事の継承(彼岸当屋、神楽、地神祭、注連縄作り等)及び屋外での認知症予防・コロナ対策懇談会や集落の環境整備事業を実施し、交流促進を通じて自治会活動の活発化につながりました。		
	評価	それぞれの自治会が事業内容及び参加者数を考慮して、十分な新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施しお互いの連帯感が深まりました。		
今後に向けて	好評であり、次年度も継続していきます。			
③	事業名	小学校芝生化グラウンドの利用推進事業	決算額	332,799円
	目的	小学校のグラウンドが芝生化され、芝生の管理を行うとともに、利活用を図り、運動の促進や地域コミュニティの醸成を推進します。		
	実施内容	地域住民のボランティア芝生管理グループ「名田島しばもり隊」により定期的に芝刈り・施肥・散水・草取り等の芝生管理を実施しました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	・芝生管理延べ282人 ・利活用(小学校大運動会ほか、地区民体育大会は中止)		
	成果	維持管理作業により良好な芝生を提供することができました。また、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して小学生を対象としたサマースタディや5・6年生による芝刈り体験を通じて芝生の感触を楽しみ芝生化を再認識する機会となりました。		
	評価	植え付けから6年目が経過し、芝生も順調に管理ができている。地域住民の運動の促進や住民同士の地域コミュニティの醸成につながっています。		
今後に向けて	今後も適切な管理に努め、地域住民の交流の拠点となるよう更なる利活用を図っていきます。			